

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

令和5年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利 便 増 進 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
			起点	経由地 営業区域	終点					運行態様 の別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策	基準二で該当 する要件 (別表7のみ)
石狩市	石狩市	(1) 浜益南北方面	浜益温泉	浜益区	厚田支所	往 km 復 km	194 日	194.0 回		区域運行		北海道中央バス(株)札幌厚田線道の駅石狩「あいろーど厚田」及び厚田支所停留所、沿岸バス(株)はぼろ号浜益区各停留所に接続	
		(2) 浜益東方面	浜益	浜益区	厚田支所	往 km 復 km	50 日	38.0 回		区域運行			
		(3) 厚田方面	雄冬	浜益区	厚田支所	往 km 復 km	244 日	524.0 回		区域運行			
						往 km 復 km	日	回					
						往 km 復 km	日	回					

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「利便増進特例措置」については、地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市町村名	石狩市
------	-----

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	12,136
交通不便地域	2,751

交通不便地域の内訳

人口	対象地区	根拠法
1,631	旧厚田村	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法
1,120	旧浜益村	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画の策定年月日及び算定式適用開始年度

計画名	策定年月日	算定式適用開始年度
石狩市地域公共交通網形成計画	平成31年3月22日	

(1) 記載要領

- 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。  
なお、実施要領等で別に定める場合は、それによること。
- 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
- 「交通不便地域」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（以下、「交付要綱」という。）の別表7（口（1））に記載のある過疎地域の人口及び交付要綱別表7（口（2）（実施要領の2.（1）））に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口の合計（重複する場合を除く）を記載すること。
- 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が上記3.に掲げる法律（根拠法）に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
- 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。

(2) 添付書類

- 人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分が分かる地図  
(ただし、全域が交通不便地域となる場合には省略可)



運行回数・サービス提供時間算定表

\*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行回数 (い) E		実績運行回数 (ろ) J		運休回数 (い) - (ろ) = (は)		サービス提供時間(リ)		実績運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)		備考								
浜益南北方面		194.0		194.0		194.0		0												
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績 サービス提供時間				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)					
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休 (-) H	天災*2 I		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O				
4年	10月	往	1	16	32.0	50.0%	16.0					時間				O				
		復	1																	
		往																		
		復																		
												「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) 当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) 数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)								
													時間							
													時間							
													分計							
小計			16	32.0	16.0															
4年	11月	往	1	16	32.0	50.0%	16.0					時間				O				
		復	1																	
		往																		
		復																		
												「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) 当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) 数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)								
													時間							
													時間							
													分計							
小計			16	32.0	16.0															
4年	12月	往	1	16	32.0	50.0%	16.0					時間				O	【年末年始運休日】12/29、12/30			
		復	1																	
		往																		
		復																		
												「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) 当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) 数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)								
													時間							
													時間							
													分計							
小計			16	32.0	16.0															

運行回数・サービス提供時間算定表

\*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行日数 B		194.0		実績運行日数 F		運休回数 (い)-(ろ)=(は)		194.0							
浜益南北方面		計画運行回数 (い) E		194.0		実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I									
						サービス提供時間(リ) 0		運行割合(ろ+に)/(い)=(ほ)									
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画				実績					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)					
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 D	C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休(-) H	天災*2 I	C+G+H= J		サービス提供時間				
										時間	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O		
5年	1月	月火木金	往	1	15	30.0	50.0%	15.0									【年末年始運休日】1/3
			復	1													
			往														
			復														
			往														
復																	
往																	
復																	
往																	
復																	
往																	
復																	
小計			15	30.0	15.0												
5年	2月	月火木金	往	1	15	30.0	50.0%	15.0									
			復	1													
			往														
			復														
			往														
復																	
往																	
復																	
往																	
復																	
往																	
復																	
小計			15	30.0	15.0												
5年	3月	月火木金	往	1	17	34.0	50.0%	17.0									
			復	1													
			往														
			復														
			往														
復																	
往																	
復																	
往																	
復																	
往																	
復																	
小計			17	34.0	17.0												

運行回数・サービス提供時間算定表

\*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行日数 B		194.0		実績運行日数 F		運休回数 (い)-(ろ)=(は)		194.0									
浜益南北方面		計画運行回数 (い) E		194.0		実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I											
						サービス提供時間(リ) 0		運行割合(ろ+に)/(い)=(ほ)											
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画				実績					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)							
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 D	C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休(-) H	天災*2 I	C+G+H= J		サービス提供時間						
												時間	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O		
5年	4月	月火木金	往	1	16	32.0	50.0%	16.0					時間						
			復	1															
		往												時間分計					
		復																	
		往												時間分計					
復																			
往												時間分計							
復																			
小計			16	32.0	16.0														
5年	5月	月火木金	往	1	16	32.0	50.0%	16.0					時間						
			復	1															
		往												時間分計					
		復																	
		往												時間分計					
復																			
往												時間分計							
復																			
小計			16	32.0	16.0														
5年	6月	月火木金	往	1	18	36.0	50.0%	18.0					時間						
			復	1															
		往												時間分計					
		復																	
		往												時間分計					
復																			
往												時間分計							
復																			
小計			18	36.0	18.0														

運行回数・サービス提供時間算定表

\*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行日数 B		194.0		実績運行日数 F		運休回数 (い) - (ろ) = (は)		194.0							
浜益南北方面		計画運行回数 (い) E		194.0		実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I									
						サービス提供時間(リ) 0		運行割合(ろ+に)/(い)=(ほ)									
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画				実績					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)					
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1			サービス提供時間						
					調整%		増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	時間	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O	
5年 7月	月火木金	往	1	16	32.0	50.0%	16.0										
		復	1														
	往																
	復																
	往																
小計			16	32.0		16.0											
5年 8月	月火木金	往	1	17	34.0	50.0%	17.0										
		復	1														
	往																
	復																
	往																
小計			17	34.0		17.0											
5年 9月	月火木金	往	1	16	32.0	50.0%	16.0										
		復	1														
	往																
	復																
	往																
小計			16	32.0		16.0											
合計			194	388.0		194.0											

運行回数・サービス提供時間算定表

運行系統	浜益東方面	計画運行日数 B	50.0	実績運行日数 F		運休回数 (い) - (ろ) = (は)	38.0
		計画運行回数 (い) E	38.0	実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I	
				サービス提供時間(り) 0		運行割合(ろ+に)/(い)=(ほ)	

\*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)							
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				C+G+H=J	サービス提供時間											
					調整% D	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	時間 K		待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N=O								
4年	10月	往	1	4	8.0	35.0%	3.0																	
		復	1																					
		往																						
		復																						
往																								
復																								
往																								
復																								
小計				4	8.0		3.0																	

「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます)  
 当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません)  
 数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)							
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				C+G+H=J	サービス提供時間											
					調整% D	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	時間 K		待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N=O								
4年	11月	往	1	4	8.0	35.0%	3.0																	
		復	1																					
		往																						
		復																						
往																								
復																								
往																								
復																								
小計				4	8.0		3.0																	

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)							
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				C+G+H=J	サービス提供時間											
					調整% D	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	時間 K		待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N=O								
4年	12月	往	1	4	8.0	35.0%	3.0																	
		復	1																					
		往																						
		復																						
往																								
復																								
往																								
復																								
小計				4	8.0		3.0																	



運行回数・サービス提供時間算定表

運行系統	浜益東方面	計画運行日数 B	50.0	実績運行日数 F		運休回数 (い) - (ろ) = (は)	38.0
		計画運行回数 (い) E	38.0	実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I	
				サービス提供時間(り) O		運行割合(ろ+に)/(い)=(ほ)	

\*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画				実績										備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)		
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1			C+G+H=J	サービス提供時間						K+L+M+N=O	
					調整% D	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		時間	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N			
5年	1月	往	1	4	8.0	35.0%	3.0						時間						
		復	1										時間						
		往																	
		復																	
小計			4	8.0	3.0														

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画				実績										備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)		
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1			C+G+H=J	サービス提供時間						K+L+M+N=O	
					調整% D	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		時間	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N			
5年	2月	往	1	4	8.0	35.0%	3.0						時間						
		復	1										時間						
		往																	
		復																	
小計			4	8.0	3.0														

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画				実績										備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)		
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1			C+G+H=J	サービス提供時間						K+L+M+N=O	
					調整% D	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		時間	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N			
5年	3月	往	1	5	10.0	35.0%	4.0						時間						
		復	1										時間						
		往																	
		復																	
小計			5	10.0	4.0														

運行回数・サービス提供時間算定表

\*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	浜益東方面	計画運行日数 B	50.0	実績運行日数 F		運休回数 (い) - (ろ) = (は)	38.0
		計画運行回数 (い) E	38.0	実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I	
				サービス提供時間(り) O		運行割合(ろ+に)/(い)=(ほ)	

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画				運行日数 F	実績				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)											
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数			運行回数*1	サービス提供時間														
					調整% D	C×D=E			増便 G	運休(-) H	天災*2 I		C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O					
5年	4月	往	1	4	8.0	35.0%	3.0																
		復	1																				
		往																					
		復																					
		往																					
復																							
往																							
復																							
往																							
復																							
往																							
復																							
小計				4	8.0	3.0																	

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画				運行日数 F	実績				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)												
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数			運行回数*1	サービス提供時間															
					調整% D	C×D=E			増便 G	運休(-) H	天災*2 I		C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O						
5年	5月	往	1	4	8.0	35.0%	3.0																	
		復	1																					
		往																						
		復																						
		往																						
復																								
往																								
復																								
往																								
復																								
往																								
復																								
小計				4	8.0	3.0																		

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画				運行日数 F	実績				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)												
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数			運行回数*1	サービス提供時間															
					調整% D	C×D=E			増便 G	運休(-) H	天災*2 I		C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O						
5年	6月	往	1	4	8.0	35.0%	3.0																	
		復	1																					
		往																						
		復																						
		往																						
復																								
往																								
復																								
往																								
復																								
往																								
復																								
小計				4	8.0	3.0																		

運行回数・サービス提供時間算定表

\*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行日数 B		50.0		実績運行日数 F		運休回数 (い)-(ろ)=(は)		38.0											
浜益東方面		計画運行回数 (い) E		38.0		実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I													
		サービス提供時間(り) 0		運行割合(ろ+に)/(い)=(ほ)																	
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績				サービス提供時間					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)						
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休(-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O					
5年	7月	水	往	1	4	8.0	35.0%	3.0					時間								
			復	1																	
		往復循環	往																		
			復																		
			往復																		
小計			4	8.0	3.0																
5年	8月	水	往	1	5	10.0	35.0%	4.0					時間								
			復	1																	
		往復循環	往																		
			復																		
			往復																		
小計			5	10.0	4.0																
5年	9月	水	往	1	4	8.0	35.0%	3.0					時間								
			復	1																	
		往復循環	往																		
			復																		
			往復																		
小計			4	8.0	3.0																
合計			50	100.0	38.0																

運行回数・サービス提供時間算定表

運行系統	厚田方面	計画運行日数 (B)	244.0	実績運行日数 (F)		運休回数 (い) - (ろ) = (は)	524.0
		計画運行回数 (い) (E)	524.0	実績運行回数 (ろ) (J)		やむを得ない運休回数 (に) (I)	
				サービス提供時間 (り) (O)	0	運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)	

\*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)								
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				サービス提供時間													
					調整% D	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O									
4年	10月	月火木金	往	4	16	96.0	35.0%	34.0																	
			復	2																					
		水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0																	
			復	2																					
		往																							
		復																							
小 計				20	120.0		43.0																		

「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます)  
 当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません)  
 数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)							
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				サービス提供時間												
					調整% D	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O								
4年	11月	月火木金	往	4	16	96.0	35.0%	34.0																
			復	2																				
		水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0																
			復	2																				
		往																						
		復																						
小 計				20	120.0		43.0																	

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)							
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				サービス提供時間												
					調整% D	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O								
4年	12月	月火木金	往	4	16	96.0	35.0%	34.0																
			復	2																				
		水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0																
			復	2																				
		往																						
		復																						
小 計				20	120.0		43.0																	

【年末年始運休日】12/29、12/30

運行回数・サービス提供時間算定表

運行系統	厚田方面	計画運行日数 B	244.0	実績運行日数 F		運休回数 (い) - (ろ) = (は)	524.0
		計画運行回数 (い) E	524.0	実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I	
				サービス提供時間 (り) O		運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)	

\*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)		
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				C+G+H=	サービス提供時間						
					調整%	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	J		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O	
5年	1月	往 月 火 木 金	4 2	15	90.0	35.0%	32.0						時間						【年末年始運休日】1/3
		復 循 環	2																
	往 水	4 2	4	24.0	35.0%	9.0							時間						
	復 循 環	2											分						
	往																		
	復																		
	循																		
	環																		
小 計			19	114.0		41.0													

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)		
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				C+G+H=	サービス提供時間						
					調整%	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	J		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O	
5年	2月	往 月 火 木 金	4 2	15	90.0	35.0%	32.0						時間						
		復 循 環	2																
	往 水	4 2	4	24.0	35.0%	9.0							時間						
	復 循 環	2											分						
	往																		
	復																		
	循																		
	環																		
小 計			19	114.0		41.0													

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)		
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				C+G+H=	サービス提供時間						
					調整%	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	J		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O	
5年	3月	往 月 火 木 金	4 2	17	102.0	35.0%	36.0						時間						
		復 循 環	2																
	往 水	4 2	5	30.0	35.0%	11.0							時間						
	復 循 環	2											分						
	往																		
	復																		
	循																		
	環																		
小 計			22	132.0		47.0													

運行回数・サービス提供時間算定表

運行系統	厚田方面	計画運行日数 B	244.0	実績運行日数 F		運休回数 (い) - (ろ) = (は)	524.0
		計画運行回数 (い) E	524.0	実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I	
				サービス提供時間 (り) O		運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)	

\*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)							
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				サービス提供時間												
					調整% D	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O								
5年	4月	月火木金	往	4	16	96.0	35.0%	34.0																
			復	2																				
	水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0																	
		復	2																					
		往																						
		復																						
小 計				20	120.0		43.0																	

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)							
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				サービス提供時間												
					調整% D	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O								
5年	5月	月火木金	往	4	16	96.0	35.0%	34.0																
			復	2																				
	水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0																	
		復	2																					
		往																						
		復																						
小 計				20	120.0		43.0																	

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)							
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				サービス提供時間												
					調整% D	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O								
5年	6月	月火木金	往	4	18	108.0	35.0%	38.0																
			復	2																				
	水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0																	
		復	2																					
		往																						
		復																						
小 計				22	132.0		47.0																	

運行回数・サービス提供時間算定表

運行系統	厚田方面	計画運行日数 B	244.0	実績運行日数 F		運休回数 (い) - (ろ) = (は)	524.0
		計画運行回数 (い) E	524.0	実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I	
				サービス提供時間 (り) O		運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)	

\*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)						
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				C+G+H=	サービス提供時間										
					調整%	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	J		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O					
5年	7月	往	4	16	96.0	35.0%	34.0																
		復	2																				
	水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0																
		復	2																				
		往																					
		復																					
小 計				20	120.0		43.0																

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)						
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				C+G+H=	サービス提供時間										
					調整%	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	J		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O					
5年	8月	往	4	17	102.0	35.0%	36.0																
		復	2																				
	水	往	4	5	30.0	35.0%	11.0																
		復	2																				
		往																					
		復																					
小 計				22	132.0		47.0																

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)						
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1				C+G+H=	サービス提供時間										
					調整%	C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I	J		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O					
5年	9月	往	4	16	96.0	35.0%	34.0																
		復	2																				
	水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0																
		復	2																				
		往																					
		復																					
小 計				20	120.0		43.0																
合 計				244	1,464.0		524.0																

運行回数・サービス提供時間算定表

\*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行回数 (い) E		実績運行回数 (ろ) J		運休回数 (い) - (ろ) = (は)		やむを得ない運休回数 (に) I		サービス提供時間(リ) 0		運行割合(ろ+に)/(い)=(ほ)		備考		
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績 サービス提供時間				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O
4年	10月	往復循環									時間					
		往復循環									時間					
		往復循環										「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) 当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) 数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)				
		往復循環														
小計																

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績 サービス提供時間				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O
4年	11月	往復循環									時間					
		往復循環									時間					
		往復循環										「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) 当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) 数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)				
		往復循環														
小計																

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績 サービス提供時間				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O
4年	12月	往復循環									時間					
		往復循環									時間					
		往復循環										「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) 当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) 数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)				
		往復循環														
小計																



運行回数・サービス提供時間算定表

\*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行回数 (い) E		実績運行回数 (ろ) J		運休回数 (い) - (ろ) = (は)		やむを得ない運休回数 (に) I		サービス提供時間(リ) 0		運行割合(ろ+に)/(い)=(ほ)				
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		サービス提供時間					
											時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N= O	
5年	1月	往復														
		復														
		往復														
		復														
小計																

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		サービス提供時間					
											時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N= O	
5年	2月	往復														
		復														
		往復														
		復														
小計																

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		サービス提供時間					
											時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N= O	
5年	3月	往復														
		復														
		往復														
		復														
小計																

運行回数・サービス提供時間算定表

\*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行回数 (い) E		実績運行回数 (ろ) J		運休回数 (い) - (ろ) = (は)		やむを得ない運休回数 (に) I		サービス提供時間(リ) 0		運行割合(ろ+に)/(い)=(ほ)				
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		サービス提供時間					
											時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N= O	
5年	4月	往復														
		復														
		往復														
		復														
小計																

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		サービス提供時間					
											時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N= O	
5年	5月	往復														
		復														
		往復														
		復														
小計																

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		サービス提供時間					
											時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N= O	
5年	6月	往復														
		復														
		往復														
		復														
小計																

運行回数・サービス提供時間算定表

\*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行回数 (い) E		実績運行回数 (ろ) J		運休回数 (い) - (ろ) = (は)		やむを得ない運休回数 (に) I		サービス提供時間(リ) 0		運行割合(ろ+に)/(い)=(ほ)		備考		
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		サービス提供時間					
											時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N= O	
5年 7月	往復	-----														
	往復	-----														
	往復	-----														
	往復	-----														
小計																

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		サービス提供時間					
											時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N= O	
5年 8月	往復	-----														
	往復	-----														
	往復	-----														
	往復	-----														
小計																

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休(-) H	天災*2 I		サービス提供時間					
											時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N= O	
5年 9月	往復	-----														
	往復	-----														
	往復	-----														
	往復	-----														
小計																
合計																

運行回数・サービス提供時間算定表

\*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行日数 B		実績運行日数 F		運休回数 (い) - (ろ) = (は)		実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I		サービス提供時間(り) 0		運行割合(ろ+に) / (い) = (ほ)				
計画		実績		備考														
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績			サービス提供時間					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)				
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休(-) H 天災*2 I C+G+H= J			実行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O			
4年	10月	往																
		復																
		循環																
		計																
小計																		

「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます)  
 当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません)  
 数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)

年月		曜日区分		計画			実績			サービス提供時間					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)			
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績			サービス提供時間									
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休(-) H 天災*2 I C+G+H= J			実行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O				
4年	11月	往																
		復																
		循環																
		計																
小計																		

年月		曜日区分		計画			実績			サービス提供時間					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)			
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績			サービス提供時間									
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休(-) H 天災*2 I C+G+H= J			実行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O				
4年	12月	往																
		復																
		循環																
		計																
小計																		

運行回数・サービス提供時間算定表

運行系統		計画運行日数 B		実績運行日数 F		運休回数 (い) - (ろ) = (は)		実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I		サービス提供時間 (り) O		運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)			
計画		実績		備考													
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)						
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休(-) H 天災*2 I C+G+H= J			サービス提供時間 実行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O							
5年	1月	往															
		復															
		循															
		往															
		復															
小計																	
5年	2月	往															
		復															
		循															
		往															
		復															
小計																	
5年	3月	往															
		復															
		循															
		往															
		復															
小計																	

\*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。  
(往、復、循環各1回)  
\*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行回数・サービス提供時間算定表

運行系統		計画運行日数 B		実績運行日数 F		運休回数 (い) - (ろ) = (は)														
		計画運行回数 (い) E		実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I														
				サービス提供時間 (り) O		運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)														
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)									
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休(-) H 天災*2 I C+G+H= J			サービス提供時間 実行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O										
5年	4月	往復																		
		復																		
		往復																		
		復																		
小計																				

\*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。  
(往、復、循環各1回)  
\*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)									
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休(-) H 天災*2 I C+G+H= J			サービス提供時間 実行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O										
5年	5月	往復																		
		復																		
		往復																		
		復																		
小計																				

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)									
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休(-) H 天災*2 I C+G+H= J			サービス提供時間 実行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O										
5年	6月	往復																		
		復																		
		往復																		
		復																		
小計																				

運行回数・サービス提供時間算定表

\*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。  
 (往、復、循環各1回)  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行日数 B		実績運行日数 F		運休回数 (い) - (ろ) = (は)		実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I		サービス提供時間(り) O		運行割合(ろ+に)/(い)=(ほ)				
計画		実績		備考														
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績			サービス提供時間					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)				
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休(-) H 天災*2 I C+G+H= J			実行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O			
5年	7月	往																
		復																
		循環																
		往																
		復																
小計																		

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績			サービス提供時間					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)				
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休(-) H 天災*2 I C+G+H= J			実行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O			
5年	8月	往																
		復																
		循環																
		往																
		復																
小計																		

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績			サービス提供時間					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)				
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休(-) H 天災*2 I C+G+H= J			実行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O			
5年	9月	往																
		復																
		循環																
		往																
		復																
小計																		
合計																		

2. 補助対象期間における損益の実績【地域内フィーダー系統(区域型運行)】

補助対象期間の 損益状況	一般乗合旅客自動車運送事業・自家用有償旅客運送					
	営業収益	千円	営業外収益	千円	経常収益	千円
	営業費用	千円	営業外費用	千円	経常費用(イ)	千円
	営業損益	千円	営業外損益	千円	経常損益	千円
補助対象期間のサービス提供時間(ロ)	時間				経常収支率	%

3. キロ当たり補助対象経常費用

補助ブロック名	補助対象事業者の時間当たり経常費用 イ÷ロ=ハ	地域時間当たり標準経常費用 ニ	時間当たり経常費用 ことホのいずれか少ない額 ホ
	円 銭		円 銭

4. 補助対象系統ごとの国庫補助金申請額、負担者とその負担割合

市区町村	申請番号	利便増進 特例措置	運行 系統名	営業区域	計画 運行回数 (い)	実績 運行回数 (ろ)	運休回数 (は)	運休回数の うち12条2 項ただし書 によりやむを 得ないとして 大臣が認め た回数 (に)	運行割合 (100%を超え る場合は 100%を上限 とする。)	サービス提供時間 ヘ	補助ブロック外 乗入部分に係る サービス提供時 間 ト	同一補助ブロッ ク市区町村外乗 入部分に係る サービス提供時 間 チ	補助ブロック外乗り 入れ部分及び同一補助 ブロック市区町村外乗 り入れ部分以外の サービス提供時間の 比率 (ヘ-(ト+チ))÷ヘ =リ
					回	回	回	回	%	時間	時間	時間	%
					回	回	回	回	%	時間	時間	時間	%
					回	回	回	回	%	時間	時間	時間	%
					回	回	回	回	%	時間	時間	時間	%
					回	回	回	回	%	時間	時間	時間	%
合計													

市区町村	申請番号	補助対象 経常費用 ホ×ヘ=ヌ	補助対象系統 の経常収益 ル	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した額 ヌ-ル=ヲ	のうち補助ブロッ ク外乗入部分及び 同一補助ブロック市 区町村外乗入部分 以外に係るもの ヲ×リ=ワ	補助対象経費 カ	補助対象経費 の1/2 カ×1/2=コ	国庫補助 上限額 タ	国庫補助金 申請額 レ
		円	円	円	円	千円	千円	千円	千円
		円	円	円	円	千円	千円	千円	千円
		円	円	円	円	千円	千円	千円	千円
		円	円	円	円	千円	千円	千円	千円
		円	円	円	円	千円	千円	千円	千円
合計		0円	0円	0円	0円	0千円	0千円	0千円	0千円

市区町村	申請番号	経常費用から 経常収益を控除 した額 ハ×ヘ-ル=ソ	損失額から国庫補 助額を控除した額 ソ-レ=ツ	ネの負担者とその負担割合									
				都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要	
				負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合		
		円											
		円											
		円											
		円											
		円											
合計		0円	0円	円	%	円	%	円	%	円	%		



#### (1) 記載要領

- 1.乗合バス事業の収益、サービス提供時間については、高速バス及び定期観光バス等を除き、費用については、高速バス及び定期観光バス等並びに補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)における補助金交付要綱第2編第1章第3節に係る経常費用を除くこと。
- 2.補助対象事業者の決算期間が補助対象期間と相違している事業者については、補助対象期間の仮決算を行い、その損益状況を損益状況欄に記載すること。
- 3.補助対象期間中の一般乗合旅客自動車運送事業(自家用有償旅客運送)と他の事業を兼業している場合の関連収益及び費用の配分については、原則として、自動車運送事業に係る収益及び費用並びに固定資産の配分基準について(昭和52年5月17日付け自総第338号、自旅第151号、自貨第55号)によること。
- 4.「補助対象期間の損益状況」については、消費税相当額を控除した額を記載すること。
- 5.「補助ブロック名」については、補助金交付要綱別表6の名称を記載すること。
- 6.「地域時間当たり標準経常費用」は、補助ブロックを管轄する地方運輸局等が通知した数値によること。
- 7.時間当たり補助対象経常費用の計算上生じた単位未満の端数は切り捨てること。
- 8.申請番号は、事業者及び系統ごとに一連番号とすること。なお、1系統が2つ以上の補助ブロックにまたがる場合は、その比率に応じ低い方をカッコ書きの番号とすること。
- 9.「利便増進特例措置」については、地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「」を記載する。
- 10.「計画運行回数」については、大臣に認定された生活交通確保維持改善計画に記載された回数を転載すること。
- 11.「実績運行回数」については、補助対象期間中に運行した回数を記載すること。
- 12.「運休回数」については、計画運行回数のうち、補助対象期間中に運休した回数を記載すること。
- 13.「運休回数のうち12条2項ただし書によりやむを得ないとして大臣が認めた回数」については、補助対象期間中に運休した回数のうち、天災その他やむを得ない事情がある場合による回数を記載すること。
- 14.「運行割合」は、小数点第2位(第3位以下切り捨て)まで算出して記載すること。
- 15.「サービス提供時間」、「補助ブロック外乗入部分に係るサービス提供時間」及び「同一補助ブロック市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出すること。
- 16.「同一補助ブロック市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間」については、同一補助ブロック内における市区町村外乗入部分のサービス提供時間を記載することとし、補助ブロックが異なる市区町村外乗入部分は(ト)に記載すること。
- 17.「補助ブロック外乗入部分及び市区町村外乗入部分以外のサービス提供時間の比率」は、%以下第3位(小数点第4位切り捨て)まで算出して記載すること。
- 18.「補助対象経常費用」は、円未満の端数を切り捨てること。
- 19.「補助対象系統の経常収益」については、補助対象期間における各補助対象系統の経常収益の実績額を記載すること。
- 20.「補助対象経費」は、(ワ)の金額を記載する(千円未満の端数は切り捨てること)。
- 21.「補助対象経費の1/2」は、系統ごとに百円単位(0.5千円)まで記載することとし、合計の千円未満の端数は切り捨てること。
- 22.「国庫補助上限額」については、市区町村等が当該市区町村等に係る国庫補助上限額のうち、各事業者の系統ごとに按分した額を記載することとし、千円未満の端数は切り捨てること。
- 23.サービス提供時間とは、事業開始時間から事業終了時間までの間をいい、そのうち、待機時間、回送時間、予約受付に係る時間についても含める。ただし、時間外に行われる予約受付に係る時間等については含めない。
- 24.待機時間とは、サービス提供時間のうち、実運行しなかった時間をいう。ただし、休憩時間及びその他事業に従事している時間については含めない。
- 25.回送時間については、乗客が降車した後、帰庫する際の回送運行は実運行時間として差し支えない。ただし、回送運行中(帰庫途中)に乗用事業による配車指示があり、乗用事業の運行を行った場合は、当該回送運行は実運行時間とは認められない。

#### (2) 添付書類

- 1.補助対象期間に係る旅客自動車運送事業等報告規則第2条第2項の「事業報告書」又は自家用有償旅客運送の損益明細表。
- 2.様式第1 - 5の運行系統別輸送実績。

事業者名		
運行計画担当部門	(担当部門の名称)	(責任者役職・氏名)
補助金担当部門	(担当部門の名称)	(責任者役職・氏名)

運行系統別輸送実績 (令和5年度) 【フィーダー系統】

申請番号	運行形態	運行系統					年間輸送実績							経常収益				経常費用	市町村の別	備考	
		運行系統名	起点	主な経由地	終点	キロ程 (km)	運行回数 (A) (回)	輸送人員 (B) (人)	1運行当たり輸送人員 (B)/(A) (人/回)	1人平均乗車キロ (km)	輸送人キロ (人・回)	実車走行キロ (km)	サービス提供時間 (時間)	運送収入 (C) (円)	運送雑収 (D) (円)	営業外収 (E) (円)	計 (C)+(D)+(E) (円)	1系統当たり経常費用			
											-	0.0									
											-	0.0									
											-	0.0									
											-	0.0									
											-	0.0									
合計											-	-									

[記載要領]

- この書類は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)の実績について、補助対象期間の末日現在における状態に応じて、運行系統ごとに作成すること(補助対象系統のみ記載すること)。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 運行形態は、路線定期運行、路線不定期運行、区域型運行の別を記載すること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載し、キロ程は小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。
- 運行回数は、補助対象期間における合計運行回数を記載すること。なお1往復を運行回数1回とし、循環系統の場合は、1循環で運行回数1回とする。往路若しくは復路のみの場合は、0.5回とする。
- 1運行当たり輸送人員は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出すること。
- 実車走行キロ及びサービス提供時間は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出して記載すること。
- 1系統当たり経常費用は、路線型にあっては補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用に当該系統の実車走行キロを乗じたもの、デマンド型にあっては補助対象事業者のサービス提供時間当たり経常費用に当該系統のサービス提供時間を乗じたものとする。
- 備考欄には、補助対象期間中にスト及び積雪等の理由によりバスが運行されなかった期間があった場合等、特記すべき事項について、変更年月日又は期間及びその内容を記載すること。
- 各運行系統のキロ程、運行回数、輸送人員、輸送人キロ、実車走行キロ、サービス提供時間、運送収入、運送雑収及び営業外収益の欄については必ず記載すること。